プレスリリース　□事前告知のお願い　□当日の取材のお願い　☑その他　　福 島 市

令和 8年10月19日

5種混合ワクチンにおける間違い接種の発生について

本市が予防接種業務を委託している市内医療機関において、用法を誤って接種する事案が発生しました。なお、被接種者の健康状態は、医療機関において異常が無いことを確認しています。

記

1 発 生 日　令和8年10月13日(火)

2 被接種者　生後2か月男児

3 間違い接種の内容

【5種混合ワクチン接種における用法の誤り】

5種混合ワクチンは、粉末状のバイアル製剤(びん:ヒブ成分)と液体のシリンジ製剤(注射器:ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ成分)の2種類で構成されており、バイアル製剤をシリンジ製剤で溶かして接種する必要があるが、下記のとおり誤って接種していたことが判明した。

①粉末状のバイアル製剤を溶解せずに、液体のシリンジ製剤のみを接種した。

②バイアル製剤が未開封であることに気付いた医師が、市やワクチンメーカーへ確認せずに、自己判断によりバイアル製剤を生理食塩液で溶かし、2回目の接種を行った。

※5種混合ワクチン(ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、ヒブ)



4 発生状況

①通常は問診を行った看護師が一人でワクチンの準備を行うが、今回は途中から別の看護師が準備を補助し、バイアル製剤を溶解する前に離席した。残った看護師は、バイアル製剤の溶解まで完了していると勘違いし、そのまま医師へ渡した。

②接種後、バイアル製剤が未開封であることに気付いた医師は、シリンジ内の液体製剤はワクチン成分を含まない生理食塩液だと誤認していたため、残っていたバイアル製剤を自己判断により生理食塩液で溶かして2回目を接種した。

5 対象者への対応

・当該医療機関から被接種者の保護者に対し、誤りの内容と今後の対応を説明し了承を得た。

・当該医療機関において、対象者の健康状態に異常が無いことを確認。
今後も逐次、被接種者の健康状態について確認する。

6 再発防止策

・市から当該医療機関へ詳細の聴き取りを行い、予防接種マニュアルを見直すなど体制を整備するともに、再発防止策を市へ報告するよう指導。

・市内の予防接種委託医療機関に対し、当該事案を共有し、再発防止を呼びかける。
併せて、接種の間違いに気付いた場合は、直ちに市等へ対処法を確認して指示を受けること、自己判断による接種は絶対に行わないことを再度徹底する。

被接種者および御家族には、心よりお詫び申し上げます。今後は二度とこのような事態が発生しないように対策を徹底し、再発防止に努めます。

担当:感染症・疾病対策課 予防接種係
課長 渡辺、係長 舟山
電話 024-597-6203(直通)